

## 副院長 松岡先生が総務省救急功労者表彰を受賞しました

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、期間中には全国各地において各種行事が執り行われます。

とりわけ救急功労者表彰は、平素から救急業務の推進に貢献し社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体に総務省消防庁から授与されます。

松岡哲也副院長は、りんくう総合医療センターにおける救急医療並びに災害医療の陣頭指揮を執るほか、大阪府救急医療対策審議会委員、泉州地域メディカルコントロール協議会会長、大阪府救急医療統計等検討部会部会長などの活動を通して救急業務の発展に寄与しました。

表彰式は9月9日(月)東京都内にて執り行われ、9月28日(土)スターゲイトホテル関西エアポートで『松岡哲也先生の救急功労者総務大臣表彰受賞を祝う会』が開催されました。

▶ 祝賀会の様子



## 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 座長選出優秀演題に選出

2019年2月に開催されました第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会におきまして、発表した演題「離開した創部に隣接した高さの無い回腸ストーマのケアに難渋した一例」が座長選出優秀演題に選出されました。

当院では急性腹膜炎などで緊急に人工肛門を造設する患者様に対し、受け入れ～ケア・退院支援まで行っています。なかにはケアに難渋する症例もまれではありません。今回難渋した症例からケアを確立できた事例を発表させていただきました。今後もこの事例をとおして学んだことを活かしてケアに取り組んでいきたいと思ひます。

8階海側病棟

射手矢奈津子(現 外来看護師長)・三浦典子・栩原みゆき



▲左から、栩原看護師・射手矢看護師長・三浦看護師

## 臨床研修センターを開設しました

臨床研修センター長 烏野 隆博

前期研修、後期研修、医師の生涯研修をより充実したものとし、研修医、専攻医にとって魅力ある臨床研修プログラムの構築を行うことを目的に開設をしました。また、併せて研修理念と研修基本方針を策定しました。

### 研修理念

地域医療から国際診療までを担える視野を持ち、安心かつ良質な医療をチームと協調して提供できる総合力と人格を育む

### 研修基本方針

- ・患者の心身を預かるにふさわしい人格を育む
- ・全人的に対応できる総合力を育む
- ・チーム医療を実践するリーダーシップを育む
- ・地域医療と共に国際診療を担う広い視野を育む
- ・生涯にわたり、学び続ける気概と探求心を育む

当院では、研修医が「担当医」として患者さんの診療に当たらせていただくことがあります。研修医が担当する患者さんには「指導医」を必ず配置し、診療の責任をおっております。臨床研修の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。